

地方創生におけるSDGsの推進について

1 概要

第2期「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、SDGsの視点を地方創生の推進に活用することとしており、SDGsを原動力とする県の地方創生の取組、SDGsの普及啓発や情報発信、民間との協創等、県内におけるSDGsに資する取組の活性化を図ることとしています。

2 SDGsの推進に向けた主な取組

(1) 全庁的な推進体制の構築

①三重県地方創生・SDGs推進本部の設置

- ・ 庁内部局間の連携を確保し、SDGsに資する取組の推進を図ることを目的に、既存の「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部」を今年度から、「三重県地方創生・SDGs推進本部」に改めました。

②SDGsの視点による事業構築

- ・ 「Society5.0」の視点や「SDGs」の視点を取り入れた事業が全庁的に展開されていくよう、重点取組の選定等において、それらの視点を重視していきます。

③進捗管理

- ・ SDGsの取組の推進にあたっては、外部有識者からの意見も取り入れ、改善していくため、三重県地方創生会議に新たにSDGs部会を設け、全庁的な推進取組等について、その進捗管理をはかっていきます。

④「SDGs推進窓口」の開設

- ・ SDGsの考え方の1つ、企業や地域の団体、行政など多様なステークホルダーとの効果的なパートナーシップの活性化をめざし、「SDGs推進窓口」を令和2年5月13日に設置しました。
- ・ 同窓口では、県と共に、県民の皆さんのために社会貢献活動を行っていた企業や団体等のご提案やお話を聞き、これまでの事例等もふまえ、庁内のふさわしい部局とマッチングして、具体化していく役割を担います。また、実績を事例として県HPで紹介していきます。

(2) 2020年度SDGs未来都市選定取組（「ミッションゼロ 2050 みえ
～みんなで始めるSDGs脱炭素プロジェクト～」の取組）

三重県は、SDGsを推進する地方公共団体の中から、特に優れた取組を提案する自治体として「2020年度SDGs未来都市」に選定され、次の取組を展開することとしています。

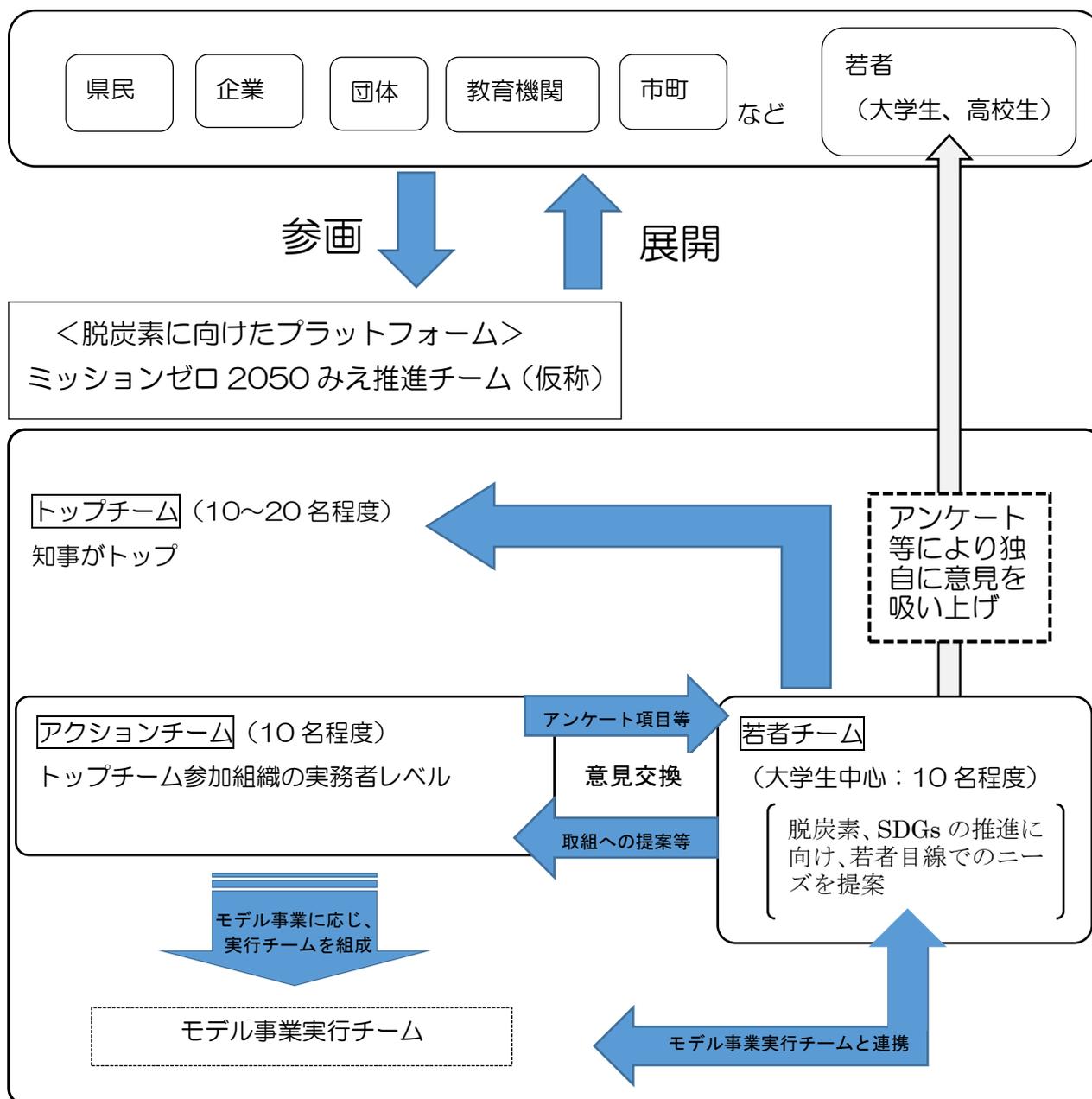
【取組概要】

- 令和元年12月に脱炭素宣言をした本県において、今年度、「脱炭素社会」の構築に向けて、具体的な取組を開始します。
この取組を推進するため、脱炭素に向けたプラットフォーム「ミッションゼロ 2050 みえ推進チーム（仮称）」を産学官等の連携で構築し、まずは3年程度でモデル事業の実施・検証を行います。
- これを通じて、社会需要としての脱炭素に向けた製品・技術開発の促進や企業の魅力向上、さらには若者の県内企業への就職の増加といった、好循環が創出されることをめざします。
- 事業推進にあたっては、環境生活部と戦略企画部が連携して取り組みます。
戦略企画部では、プラットフォームに、若者目線でのニーズの提案等を行う「若者チーム」を設置します。これにより、若い世代に対しても脱炭素の取組の普及を加速させるとともに、若者たちが三重の将来の環境を考える機会とし、若者のシビックプライドの醸成、県内定着につなげていきます。

【取組スケジュール(案)】

	1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)
取組内容	課題抽出 モデル事業検討	モデル事業実施	モデル事業検証 普及展開の検討
若者チームの取組	モデル事業への意見 提出 若者アンケート実施	モニタリング等モ デル事業への参画	普及展開の検討へ の参画

【事業イメージ】



(3) SDGs の普及啓発に向けた取組

- 令和2年1月から3月にかけて実施した第9回みえ県民意識調査において、SDGs の認知度を調査したところ、SDGs の認知度が低かった^(注)ことから、県民の皆様を対象として、シンポジウム等によりSDGs の考え方や県の取組について普及啓発していきます。

(注) 「よく知っている」3.3% 「少し知っている」6.2% 「聞いたことがある」12.9%
「知らない」77.6%